

1. <施策の概要>

基本構想	未来をひらく文化と環境のまちづくり	統括課	総務部・企画調整課
基本計画	人権尊重と男女共同参画		
施策	国際交流・平和	関連課	
方針・目標等	◆国際交流の促進 ◆多文化共生の実現 ◆多文化共生社会づくりが進み、平和で安心して暮らしやすいまち		
実施内容	◆国際交流団体と協働した事業展開 ◆精華町非核・平和都市宣言の趣旨に則った平和への取り組み		

2. <指標の設定>

①	重点	指標	単位	他団体比較		算式・引用等	
				団体名	実績/年度		
①	○	国際交流事業参加者数	名			企画調整課調べ	
②	○	国際交流人材バンク登録者数	名			企画調整課調べ	
③	○	平和祭典参加者数	名			企画調整課調べ	
④							
⑤							
		H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(実績)	H26(試算)	H27(試算)
①	目標	-	-	-	300	500	500
	実績	271	285	271	524		
②	目標	-	-	-	80	80	80
	実績	70	70	80	70		
③	目標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	実績	2,900	3,070	2,620	2,420		
④	目標						
	実績						
⑤	目標						
	実績						

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の事業に国際交流員の独自の発想による企画事業を加えたことで、活動の幅が広がり参加者数の増加につながった。</li> <li>・平和祭典のイベント内容の工夫や充実により、参加者数の増加を図る必要がある。</li> </ul>
---

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流の促進に向け、今後も広く町内外に参加募集を行うほか、新しい企画等にも取り組むことで、事業全体の活性化を促す取り組みが引き続き必要である。</li> <li>・平和祭典については、平和の尊さや、戦争の悲惨さを後世に引き継ぐためにも、継続することが重要であり、その内容についても、さらに工夫しながら取り組みを進める。</li> </ul>
---

4-1. <施策を構成する事業>

	重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
			H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(実績)	H26(予算)	H27(試算)
1	○	企画調整課	13,438	13,247	13,977	14,486	15,218	15,218
		国際交流推進事業	1,497	1,488	3,786	1,702	2,434	2,434
		一般事業 63	1,490	1,488	1,886	1,702	2,434	2,434
2	○	企画調整課	3,410	3,886	2,950	2,380	2,343	2,343
		非核平和都市宣言推進事業	100	100	226	137	100	100
		一般事業 65	100	100	226	137	100	100
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・せいかグローバルネットとの共催により様々な国際交流事業を実施した。また、京都府国際センターなどとの連携や国際交流員による新規事業などの実施により、幅広い事業展開が図れた。今後も、引き続き取り組みを継続する必要がある。姉妹都市交流においては、従来からの草の根レベルでの交流を進めると共に、インターネットの活用など新たな手法による活動の展開を図った。

・非核平和都市宣言推進では、平和祭典の開催だけでなく、戦争体験談インタビューなどの歴史資料の収集を進めることができた。今後、資料の効果的な活用方法等について検討する。

5. <施策の今後の方向性>

・国際交流においては、引き続き(一財)自治体国際化協会や府国際センター等との連携により、広域的な対外発信の取り組みを展開する。

・非核平和都市宣言推進では、平和祭典の開催において、小・中学校での平和学習の紹介など、新たな取り組みの充実に努める。